

# 実施要項

●旅行期間 2014年3月26日(水)～3月29日(土) 4日間

●旅行経費 ¥118,000- 発着地はどこでも同一料金です。  
(この旅行費用は暫定料金です。)

●最少催行人員 15名様

●旅行費用に含まれるもの

- ① 交通費：航空運賃(エコノミークラス) 日程記載の各交通機関
- ② スタンダードクラス宿泊ホテル料金  
(1室2名様バス又はシャワー付き)
- ③ 食事：朝食付き(税・チップ等サービス料を含む)
- ④ 団体行動中の各種チップ等
- ⑤ 空港、ホテル、バス等での手荷物運搬料金  
(原則としてお一人様旅行用1個20kgまで)
- ⑥ 学校訪問費用
- ⑦ 通訳費用
- ⑧ コーディネーター費用

●旅行費用に含まれないもの

- ① 昼食・夕食費用
- ② 通信費、手荷物超過料金等、個人的な費用
- ③ 旅行取扱手数料(¥8,400)
- ④ 成田空港使用料及び旅客保安サービス料(¥2,540)
- ⑤ 任意の旅行傷害保険
- ⑥ 燃油特別付加運賃(¥7,900.-)
- ⑦ シングルルーム追加費用(¥33,000)
- ⑧ 個人に属する旅券印紙代及びこれに伴う諸費用

●パスポートについて

パスポートは有効残存期間が6ヶ月以上必要です。  
有効なパスポートをお持ちでない方は  
各都道府県の旅券窓口にて申請をお願い致します。

●渡航手続き

有効旅券を所持していない方は、下記の書類をご用意の上、  
現住所にある各都道府県の旅券センターにて申請をお願いします。  
取得しましたら、旅券申請用とは別に写真1枚と旅券のコピー  
をベストワールド様にお送り下さる様をお願いします。  
取得までには約1週間から10日間かかります。

1. 戸籍抄本 1通(最近6ヶ月以内のもの)
2. 写真 1枚(縦4.5cm×横3.5cm)

●旅行申し込み方法

- ① 添付の旅行申込書に必要事項をご記入の上、  
郵送又はFAXにてベストワールド様へお願いします。
- ② 申し込みと同時に申込金(¥50,000.-)をお支払い  
お願いします。(申込金は旅行総経費の内金となります。)

●申込締切 2014年1月31日(金)

●残金の支払い 2月26日(水)までをお願い致します。

●振込先

銀行名：三菱東京UFJ銀行 神田支店  
名義：ベストワールド株式会社  
口座：当座預金0451765

●キャンセルについて

旅行参加申し込み後、お客様のご都合で旅行を  
取り止める場合は下記の取り消し料がかかります。  
\* 30日前～3日前までの場合 費用の20%  
\* 2日前～出発前日までの場合 費用の50%  
\* 当日及び、出発後の取消の場合 費用の100%  
※参加と同時に航空機、ホテル等に予約金が必要とされた場合、  
前払いする関係上キャンセルの場合実費を頂きます。

●おことわり

旅行費用は平成25年6月現在の特別航空運賃を基準にして  
おります。出発前に大幅な為替変動などがあった場合には、  
旅行費用が変更となる場合がありますのであらかじめご諒  
承をお願いします。

●規約事項

旅行中災害事変、火災、政府及び公共団体の命令、政変、ストライ  
キ、戦争、暴動、流行病、隔離、税関規則等不可抗力の事由により  
生じた損害、盗難、詐欺、暴行、傷害等会社及び旅行会社の責任外  
の事故による損害または参加者が諸法令、或いは公序良俗に反する  
行為のための生じた損害については責任を負うことは出来ません。  
なお航空機、鉄道船舶などの運輸機関の運賃変更、スケジュールの  
変更が合った場合、その他止むを得ざる事情があった場合などは、  
経費・日程を変更する場合があります。その他の規約事項は弊社旅  
行業約款によります。  
個人情報保護法にもとづき、申込書に記載された個人情報につ  
いて、お客様との連絡のために利用させていただくほか、旅行サー  
ビスの手配及びそれらのサービスの受領のための手続きに必要な範  
囲以内で利用させていただきます。また、当社の提携する企業の商  
品やサービスのご案内、旅行参加後のご意見やご感想の提供の願  
い、アンケートのお願い、海外旅行のご案内等にお客様の個人  
情報をご利用させていただくことがあります。  
総合旅行業務取扱管理者 浦尾 雄児

◆お問い合わせは…

**株式会社 教育家庭新聞社**

〒111-0053 東京都台東区浅草橋3-1-8

TEL: 03-3864-8241 FAX: 03-3864-8245

◆お申込みは…

**ベストワールド株式会社**

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-7-4

TEL: 03-3295-4111 FAX: 03-3295-4118

http://www.bstworld.co.jp/bw/

## 英語教育に国をあげて取り組む

# 第2回

# 韓国の英語教育を見る

2014年3月26日(水)～3月29日(土) <4日間>



※イメージ

企画：株式会社 教育家庭新聞社  
旅行実施：ベストワールド株式会社

観光庁長官登録旅行業第145号/日本旅行業協会正会員  
国際航空運送協会(IATA)公認代理店

----- キリトリ線 -----

## 『韓国の英語教育を見る』参加者申し込み書

フリガナ								生年	19	年	月	日生	性	男	既婚		
氏名								月日	(昭和	年)		別	女	未婚			
ローマ字名																	
現住所	〒										電話：( )						
											FAX：( )						
											携帯：( )						
勤務先名											電話：( )						
											FAX：( )						
勤務先住所	〒										E-mail：						
緊急時の連絡先	名前							(続柄：)		電話：( )							
	〒									FAX：( )							
								携帯		-							
*パスポートをお持ちの方は【残存期間6カ月以上】										発行年月日：		年		月		日	
パスポート番号：																	
同室希望者名	シングル(有料)を希望する【 】 ビジネスクラス(有料)を希望する【 】																

## 韓国の英語教育視察のご案内

グローバル化する社会の中でグローバルに活躍出来る人材の育成は喫緊の課題となっています。英語教育の現場でも「英語教育をいかに成功させて世界で活躍出来る人材を育成するか」が大きいテーマです。小学校で英語の教育が始まり、英語教育への関心がますます高まっている中で現場では戸惑いや問題が出ているのが現状です。10年以上も前に小学校で英語教育を始めた韓国は東アジアでは最も英語教育に成功している国です。英語を身につけアメリカなど海外への留学もますます盛んになっています。この研修ではソウル市の中で私立・公立の有名校を選んで訪問致します。小学校、中学校、高等学校の英語の授業を参観します。韓国の英語教育の進展は目覚ましいものがあり、特に小学校の英語授業のレベルの高さには驚くより衝撃を受ける事でしょう。小学校から高校まで授業は全て英語だけで行っているのが普通です。昨年に続き第2回目となります。多数の先生方の参加をお待ちしております。

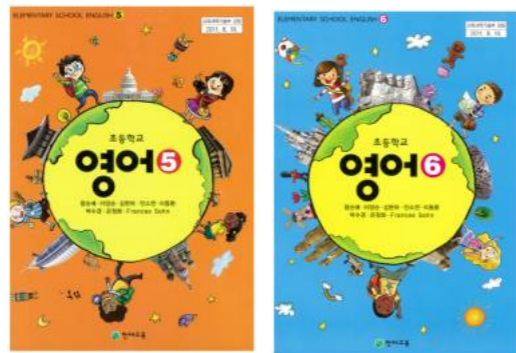
日本では「外国語活動」として2011年度からようやく小学校5・6年生で週1時間の小学校英語教育が正式にスタートしました。それに対し、韓国では既に1997年に週2時間の英語教育が小学校3年生から始められています。

小学校の英語授業時数は、3年生から6年生まで週2時間でスタート、その後、2001年度から「裁量活動の時間」が拡大されたことに伴い、3年生と4年生が週1時間に減少しました。しかし、世論の意見を背景に文科省は英語スキルをより向上するため授業時数増を決定し、現在は3年生と4年生で週2時間、5年生と6年生で週3時間への移行が行われています。

小学校英語授業の担当者は韓国では英語専任教諭が多く、開始1年後の1998年度で学級担任(60%)、英語専任教諭(40%)『韓国の英語教育政策』関西大学出版部 参照)。2005年度には何らかの形で専任教諭が担当している学校(約60%)、学級担任(40%)になっています。(日本の文科省の調査資料「韓国における小学校英語教育の現状と課題」より)

韓国文科省は英語に触れる、親しめる環境づくりを奨励、推進しています。例えば、ロールプレイなどを行う英語専用教室など。また、ネイティブの英語補助教員が配置されていない学校のために、ネイティブスピーカーや留学経験のある大学生を小学校に派遣するTalkプログラム(Teach and Learn in Korea)を実施し、2010年度で596人を派遣、放課後の補習に活用されています。さらにネイティブスピーカーによる遠隔授業、また、24時間どっぴりと英語環境に浸ることができるEnglish Villageが全国に設置され日帰り・1泊・数週間など様々なトレーニングメニューを選択できるようになっています。

2012年度には実用的コミュニケーション能力スキルを向上させるため、政府主催の英語能力テストの実施を計画中で、1級から3級まであり、1級は大学生対象、2・3級は高校生対象。大学や高校の卒業・入学判定材料、就職、海外留学の能力判定などに活用されることを想定しています。「すべての高校卒業生がやさしい英語でコミュニケーションできるようになることを保証する」とは韓国文科省の目標です。着実に目標の実現に向かって進んでいます。



韓国の英語テキスト(5年・6年)

## 日程

	曜	発着地	時刻	航空機	摘要	食
2014年 3月26日	水	東京(成田)発 ソウル 着	09:45 11:50	KE-706	成田空港に集合。大韓航空機にてソウルへ直行(大阪、名古屋、福岡、からも発着出来ます)入国手続き後、全員集合して同じバスで移動。 ◇KEDI(韓国教育研究所)訪問 ・韓国の教育行政・教育課程について ・英語教育は最大の教育目標・国家戦略を聞く ◇学習塾訪問 小学生・中学生の英語を主とした学習塾訪問。韓国は日本以上に学歴社会で、受験戦争は大変厳しい。良い学校に入るために塾通いが普通となっている。	機 — —
3月27日	木	ソウル 滞在			◇宗仁初等学校訪問 公立小学校3年生以上に英語の授業が行われている。イディオムなどを覚えるためイディオムを紙に書いて提示したり、イングリッシュカフェと呼ばれるコーナーを作り、ここでは英語のみ話すことができるなど工夫がされている。日本の小学校英語では見習う点が多い。 ◇恩石小学校訪問 英才教育で有名な名門私立小学校。教育目標の一つが Balanced Designed Immersion プログラムを通じて学術的な素養と多文化への柔軟な対応能力の育成をはかっている。 ◇教科書会社又は書店訪問 英語教育のテキスト、教材等を見比べ、購入することが出来ます。	朝 — —
3月28日	金	ソウル 滞在			◇大元外国語高等学校訪問 韓国最大の企業サムスンにより韓国初の外国語専門高校として1984年に設立。韓国の大学入学資格試験の平均点は11年間第1位、SATの平均点は世界で1位。最難関の公立大学であるソウル国立大、延世大、韓国大、への入学率はトップを誇ります。アメリカのアイビーリーグへの留学者が多い。 ※授業参観及び先生とのミーティング ◇ドコック中学校訪問 生徒数880人の公立中学校。英語の授業は生徒のレベルにより5段階クラス分けされている。生徒は毎日3~4時間家庭で勉強している。	朝 — —
3月29日	土	ソウル 発 東京(成田)着	09:10 11:30	KE-701	直行便で帰国の途に。 成田着後解散	朝 —

※関西空港、福岡空港、中部空港からも発着出来ます。

※訪問先は予定です。変更になる場合もあります。



### 宗仁初等学校

英語教育に熱心な公立小学校。韓国の公立小中高等学校には英語環境に鳴らさせるため、どの学校にも「英語教育ゾーン」が校内に設けられているが、この学校には子どもたちが英語でお買い物をする売店がある。年間20万円の予算で「英語ショップ」を運営。50人もいる保護者ボランティアが店番をし、交互に学校活動を助ける。英語の授業は小学校1年生からはじまり、5,6年生では週3時間行われる。英語専科の教員が教え、ネイティブの外国人英語指導助手が常駐する。英語の教え方や年間指導計画について担任、専科教員、ネイティブ、学校長、4者の積極的な共通理解があると思われる学校だ。学校長も英語教育に詳しい。



### 大元外国語高等学校

同校は、1984年に設立。1学年12クラス35名で、うち1学年約100名がGLPコース(global leadership program)に所属する。GLPコースとは、米国最難関のアイビーリーグや英国の有名大学に進学するためのコースで、卒業生の60%がハーバード、スタンフォード、MIT、オックスフォードなど海外の大学に進学する。GLPコースは、通常の授業に加えて放課後に英作文と英文学の授業が、米国の有名大学を卒業した米国人講師により行われている。同校は、昨年度に全教室に電子黒板を導入した。外国人講師などがパワーポイントを利用した授業をすることが多く、効率のだから導入したという。この電子黒板は、韓国の学校に一般的に見られる設置方法で、中央の黒板を左右に両サイド引くと、移動し電子黒板が表れる。

## 英語を中心とした学習塾

進学受験のための塾と英語塾の伸びが目覚ましい。これは韓国が学歴社会で、よい大学を出ることが就職にもその後の生活水準にも直結するため、家族が必死になってよい大学に入れようと努力する風潮が社会全般にあるため、名の通った塾のビルが建設されると、近くに高層マンションが建築され、子供を持つ家庭が入居するという現象が起こっている。日本と同様に少子化で、子供の数は減少を続けており、大手塾と中小零細塾との乖離が広がっています。小中学生を対象とした英語塾を見学します。

### 恩石小学校

各学年、英語の授業の他に、英語で社会科の内容を学習し、内容の教育(content-based instruction)を強化している。英語の授業は週7時間。学年ごとに200語~約1000語のリーディング教科書で習う単語数を設定し、1年生から、Listening, Speaking, Reading, Writingの4技能の育成を図っている。また、Reading and Listeningスキル向上のために、教科外で英語ライブラリにある英語の本を全校生徒がレベルに応じて1月に4冊読むようにしている。



### ドコック中学校

ソウル特別市にある公立ドコック中学校。生徒数、889人、クラス数24、教職員56人。韓国では英語科で教科教室制を導入していく予定で、同校は昨年3年間教科教室制を研究する学校に指定されています。(英語科6教室)。ソウル特別市の中学校ではネイティブが1校1人配置されています。校内は小学校と同じく「English Zone」が設けられている。英語の授業は生徒のレベルにより5段階にクラス分けされています。各レベルの1年生の授業(45分間)です。授業冒頭は電子教科書(CD-ROM)、中央に埋め込み式の大きなディスプレイ、左右にホワイトボードがある。PCやマイク、スピーカー、周辺機械が一体になった電子教卓で教科書38ページに関連する部分を投影し、単語の意味、発音、関連表現の学習を進めています。韓国の中学生は放課後、夜10時ごろまで塾で勉強する生徒が多い。生徒に家庭学習時間を聞くと、1年生なのに3~4時間は勉強しています。